

<開催報告>

地域・社会課題解決カンファレンス～地域密着型エコシステムの創出に向けて～

九州経済産業局
総務企画部 企画調査課

地域・社会課題が多様化・複雑化し、自治体単独での対応が困難となる中、地域で持続的に課題解決を行うためには、様々な関係者の連携が重要です。本カンファレンスでは、全4回にわたり、地域・社会課題解決と収益性確保の両立を目指す「ローカル・ゼブラ企業」や中間支援団体をゲストスピーカーとして招聘し、会場参加者も交えた対話を行うことで、地域・社会課題解決の担い手を支援するエコシステムの創出に向けた方策を模索しました。

第4回はSIIF（一般財団法人社会変革推進財団）常務理事の工藤七子氏を講師に招き、現地とオンラインの同時開催で実施しました。

第4回 2025年1月29日（水）福岡

「地域のシステムチェンジを促進する エコシステムの要素とメカニズム」

第1部 [オンラインと現地の同時開催]

■基調講演「地域のシステムチェンジを促進するエコシステムの要素とメカニズム」 (SIIF(一般財団法人社会変革推進財団) 常務理事 工藤 七子 氏)

- インパクト投資と地域における活用事例
- インパクト投資を取り巻くエコシステム
- システムチェンジとは何か、システムチェンジ投資とは何か
- システムチェンジ投資とインパクト投資の違い
- 地域のシステムチェンジを生み出すエコシステム

中小企業庁による施策紹介

第2部 [現地のみの開催]

■会場全体での ディスカッション

講師：工藤七子氏、ファシリテーター：株式会社エーゼログループ

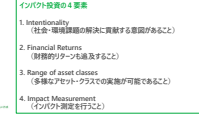
- 第1回～第3回カンファレンスでの話題提供、ディスカッションのふりかえり
- 「システムチェンジを促進するには」をテーマにディスカッション
- 地域の潜在的課題を可視化し、解決に導くプロセス
- 支援者に求められる役割とスキル、地域との接点と共通言語の重要性

◆参加者からのコメント等（現地参加30名、オンライン65名）

- インパクト投資、システムチェンジ投資などの実例が確認出来て理解が深まりました。
- 工藤さんのお話がとても面白かった。システムチェンジのあり方等大変参考になった。
- 地方における営利と非営利のセクター同士をどうつないでいくか？その手法の参考になりました。
- システムチェンジのためにコミュニティ財団がどのような役割を果たせるのかの可能性が見えたため
- 新たな投資体制など、今までに聞いたことがないことの知識を沢山教えていただきました。時代の変化に遅れないように自分自身を成長させるきっかけになりそうです。
- スタートアップのコミュニティエコシステム形成を事業検討しているので考え方や方向性の為に役に立ちました。ありがとうございます。(行政)
- アプローチする場所が実は遠いところにあることがあるという工藤さんのコメントが印象に残った。現場で手触り感を持っている人と繋がること、また自らさわっていくことの大切さを再認識した。
- 課題が複雑化しているからこそ、行政機関としてチャレンジする必要があると改めて認識した。
- 支援者として、どういう絵姿を描くべきか。関係者間の役割分担、視点等が少しクリアになった。
- 取組みを実施しているが、アピールが足りない、手法が分からないなど、自社の課題が出てきました。
- ローカル・ゼブラ企業が創出していく環境・成長させていく環境整備について、とても関心があります。

インパクト投資とは

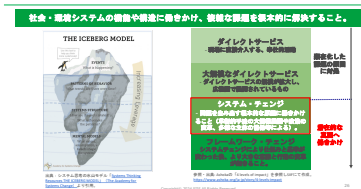
- ・ 財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的・環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資*
- ・ 投資判断は、リスク・リターン・インパクトの三次元評価に基づく



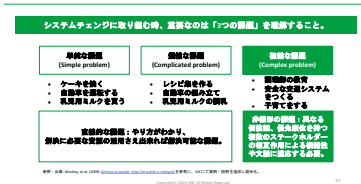
インパクト投資を取り巻くステークホルダーと役割



システムチェンジとは何か？



システムチェンジとは何か？

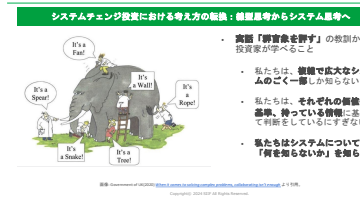


システムチェンジとは何か？

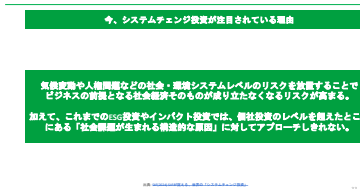
システム全体とシステムを構成する要素間の関係性を理解しない、
長期的な視点で入った人が変化したシステムを捉えない



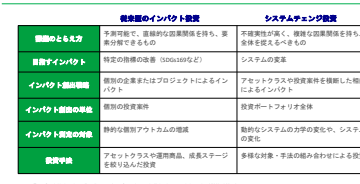
システムチェンジ投資とは何か？



システムチェンジ投資とは何か？



インパクト投資とシステムチェンジ投資の違い



地域のシステムチェンジを生み出すエコシステムの特徴

- ・ 持続性：あるものは生まれつづあり、あるものは変革し、更に他のもは死につづる。しかしシステムは生きている。
- ・ 自己増殖性：協働のための協働ではなく、特定の誰かがコントロールするものでもない、自律分散的に「自己増殖」する。
- ・ 動いている：象を見ているだけじゃダメ、まずは目の前の現実と触れ合ってみる。見えるものを他の人に伝える。それぞれの持ち場で変革を向かえる。
- ・ 全体を見る：全体を俯瞰して見ようとするシステムリーダーの存在



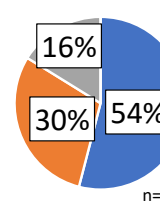
<第1部：基調講演>



<第2部：会場全体でのディスカッション>

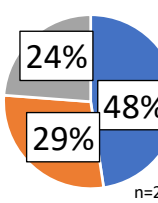
出所：SIIF(一般財団法人社会変革推進財団)工藤氏の講演資料をもとに作成

第1部の満足度



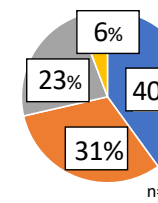
大いに満足	20
満足	11
普通	6
やや不満	0
大いに不満	0

第2部の満足度



大いに満足	10
満足	6
普通	5
やや不満	0
大いに不満	0

参加前後の変化



現在も実施しているが、さらに進めていきたくなった	14
現在検討しているが、進めていきたくなった	11
これまで検討していなかったが、検討したくなった	8
検討のきっかけになればと参加したが、きっかけにならなかった	2
進める必要性がないと感じた	0

Q.本カンファレンスを通じて、地域・社会課題解決と収益性確保の両立を目指す企業(ローカル・ゼブラ企業)としての取組を進めていきたくなりましたか？ そういった企業を支援するエコシステムへの参加を考えてみたりしましたか？